

日 時：2018年10月18日（木） 13：30～17：00

10月19日（金） 9：00～12：00

場 所：[10/18]大阪大学 豊中キャンパス 全学教育管理・講義A棟内 3階 HALC2

[10/19]追手門学院大学 1号館 3階 会議室5

出席者：32名

研修テーマ：教育，職員，学生の共創

## 1. 研修内容

第4回分科会は「教育，職員，学生の共創」を研修テーマとし、大阪大学様（1日目）、追手門学院大学様（2日目）に訪問して分科会を開催いたしました。

1日目は、大阪大学の教育学習支援部の取り組みについてご紹介いただきました。具体的には、「FD、学習支援」「大学院生向けの活動」「学部生向けの活動」「アクティブラーニング教室」などについてご紹介をいただいた後、参加者は2つテーマを掲げグループディスカッションを行いました。（グループディスカッションテーマ：「FDと学習支援」「アクティブラーニングと学習環境」）

2日目は、追手門学院大学 アサーティブ課 アサーティブオフィサー 志村 知美 様より、アサーティブプログラム、アサーティブ入試について、「本プログラム取り組みの背景や概要、仕組み」「本プログラム・入試を支える教職員の役割」などについてご紹介いただきました。その後、参加者から多数の質問をして、福島副学長、志村様から具体的な回答をいただきました。最後に、2019年度4月に開設予定の新キャンパスについてご紹介をいただきました。

両大学の具体的な取り組みを伺い、解決のヒントを得るなど大変参考になる研修となりました。

以下は、10月18日にご紹介をいただいた佐藤先生からのメッセージとなります。

~~~~~

大阪大学へようこそ！全学教育推進機構教育学習支援部は、組織化された教育学習支援環境の下で教育支援機能、キャリア開発機能、学習支援機能の強化を推進することにより、主体的な学びによる教育の高度化を全学的に実現することを目的に、2016年に設置されました。当日は、参加者の皆さんの参考にしていただくために、私たちの日々の活動を紹介します。

~~~~~

以下は、10月19日にご紹介をいただいた志村様からのメッセージとなります。

~~~~~

「追手門学院大学でいいねん」から「追手門学院大学がいいねん」

アサーティブプログラム・アサーティブ入試の出発点は在学生との井戸端会議です。大学進学率が高くなっても、進学モチベーションの低い受験生は、何をどうしたらいいのかもがいていました。そのような受験生に入学許可を出す大学の責任の果たし方として誕生したアサーティブの取り組みをご紹介します。

~~~~~

## 2. スケジュール

10月18日 (木)

13:30~13:40	全体会 ・会場校ご挨拶 大阪大学 全学教育推進機構 教育学習支援部長 増澤 利光 様 ・事務連絡 等
13:40~ 13:40~13:55	ご紹介「大阪大学 教育学習支援部の取組み」 ・大阪大学におけるFDならびに学習支援の体制 大阪大学 全学教育推進機構 教育学習支援部長 増澤 利光 様
13:55~14:25	・FDの具体的内容 大阪大学 全学教育推進機構 教育学習支援部 准教授 佐藤 浩章 様
14:25~14:55	・グループディスカッション「FDと学習支援」
14:55~15:10	休憩
15:10~15:30	・大学院生向けの授業 大阪大学 全学教育推進機構 教育学習支援部 特任助教 根岸 千悠 様
15:30~16:00	・学部生向けの授業 大阪大学 全学教育推進機構 教育学習支援部 特任助教 根岸 千悠 様 大阪大学 全学教育推進機構 教育学習支援部 准教授 佐藤 浩章 様
16:00~16:15	・アクティブラーニング教室の紹介 大阪大学 全学教育推進機構 教育学習支援部 特任講師 浦田 悠 様
16:15~16:45	・グループディスカッション「アクティブラーニングと学習環境」
16:45~17:00	質疑応答

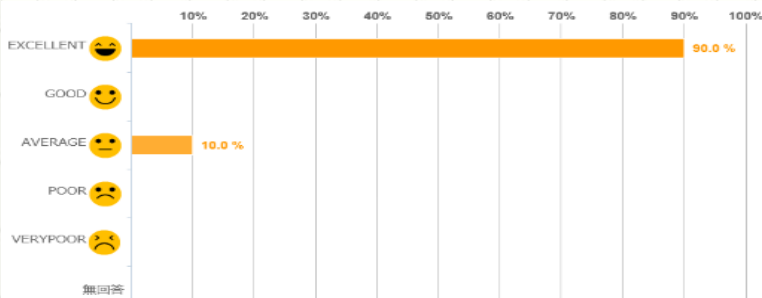
10月19日 (金)

9:00~9:10	全体会 ・会場校ご挨拶 追手門学院大学 副学長 福島 一政 様 ・事務連絡 等
9:10~10:10	ご講演 ・「答えは目の前の学生から ~アサーティブプログラム、アサーティブ入試~」 追手門学院大学 アサーティブ課 アサーティブオフィサー 志村 知美 様
10:10~10:30	休憩
10:30~11:30	意見交換・質疑応答
11:30~12:00	施設紹介

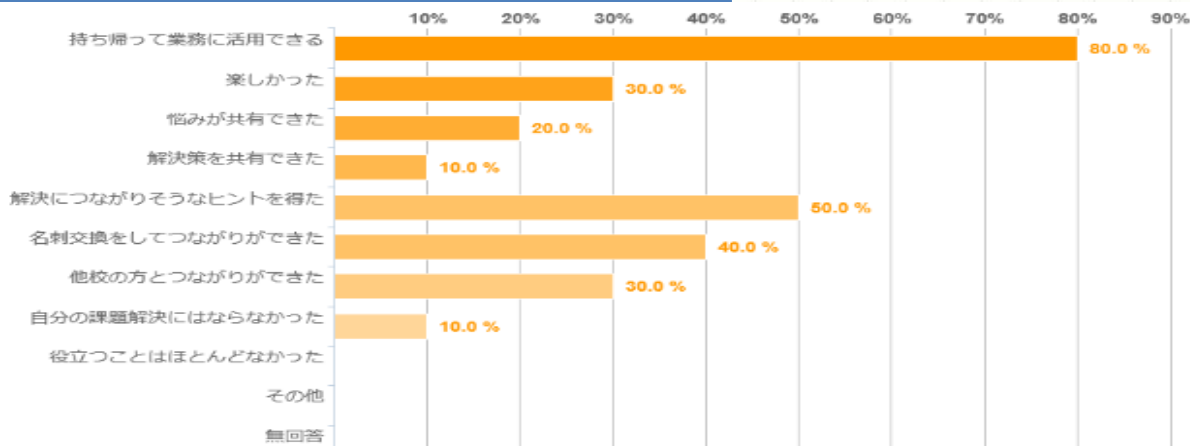


### 3. アンケート結果【回答数10】

【Q1】今回の分科会についてお答えください。



【Q2】それはなぜか理由をお答えください（複数回答可）。



【Q3】今回の分科会に関するご意見・ご感想があれば自由にご記入ください。

- FDの専門家である佐藤先生の説得力のあるお話が大変参考になりました。理想と現実の狭間で悩む事もありますが、この分野を突き詰めている佐藤先生や阪大の先生方のお話を聞く中で、モヤが晴れたような部分もあります。いつも貴重な研修の機会を設けて頂き、ありがとうございます。
- 勉強になりました。参加させていただきありがとうございました。
- 2日間にわたり、違う分野のお話が聞けてとても勉強になりました。
- 大阪大学のFDは参考にしていきたい。
- 素晴らしい取り組みを知ることができ、良い刺激になりました。
- 大変有意義な2日間でした。ありがとうございました。
- お疲れ様でした

【Q4】今後、分科会で扱ってほしいテーマや、施設見学・事例・ワークショップなど内容についての案やご意見がありましたらご記入ください。

- 関東・近畿地方以外の大学も見たいと思いました。
- ループブックやIR、ポートフォリオなど 教育の質保証のためのそれぞれの取り組みについて、掘り下げて協議、情報交換するものも面白い。
- 今回は施設見学が全く残念でした。
- 学修成果の可視化の事例

【Q5】CS研の運営や活動等に関するご意見やご感想がありましたらご記入ください。

- いつも段取りよく進行いただきありがとうございます。

### 4. 参加校 [8校19名] ・賛助企業 [3社13名] ・参加総数32名

大阪大学[5]  
追手門学院大学[2]  
関西国際大学[2]

京都ノートルダム女子大学[1]  
共立女子大学[5]  
芝浦工業大学[1]

清泉女子大学[1]  
東海大学[2]

京都電子計算 (株) [1]  
チエル (株) [1]  
富士通 (株) [9], 事務局[2]

### 5. 所感

自身の担当ソリューション富士通製のMOOC「Fisdorn」において、顧客訪問の際よく話題に出る「FD」に関して、学内の取り組みを知ることが出来、大変勉強になりました。また「アサーティブ入試」という取り組みに関しても受講生～入学後までの統合ID管理を用いたSPOC活用の可能性を発見出来、大変有効であったと感じました。